

会 長 挨拶



本日、ここに全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会（略称：全天連）創立40周年記念式典を挙げるに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

まず、本日の式典が盛大に実施出来ますことは、林野庁はじめ関係官庁、大阪府、木材関係団体のみならず、家具業界・建設業界・建築家・建築士の皆様、医療関係者・教育関係者の皆様、また全国各地の組合員・賛助会員の皆様、更にはお取引きをしている関係企業の皆様の温かいご支援とご協力の賜であり、深く感謝申し上げます。

本日は、公務極めてご多用の中、林野庁長官、大阪府副知事、全国木材組合連合会会長をはじめ多くのご来賓のご臨席を賜り、心から御礼申し上げます。

また、多年にわたり、全天連の発展にご尽力され表彰の栄に浴されました皆様に対し、衷心より敬意と祝意を表しますとともに、今後とも益々ご健勝でご活躍されますようご祈念申し上げます。

さて、全天連は、昭和47年に中小企業協同組合法に基づき当時の農林大臣から許可を受けて創立され、以来今日まで40年の歳月が経過しました。この間、多くの諸先輩の方々が、一致団結し、全天連の旗の下で、その時々時代の背景や取り巻く社会・経済情勢の中で、幾多の試練に耐え、困難を克服し、着実にツキ板業界を構築しつつ、発展させて参りました。しかしながら、現在の業況は、今まで経験したことがない厳しい時代の中にあると考えております。例えばツキ板の生産量を見ますと、平成20年秋のリーマン・ショックでの落ち込みが大きく、今なお更に落ち込んでいるのが現状です。その要因は、一つには世界経済の低迷もあるとは思いますが、やはり非木質系である石油製品から製造された人工素材の増加が最大の要因であると考えております。

本日、この式典後に予定されております「木材と健康」をテーマとして行われますシンポジウムは、木材、医療、建築の各分野における著名な先生をお招きし、人間の健康面あるいは地球環境面から木材の良さ・素晴らしさについて科学的、医学的な研究データを基にご講演・ご討議いただき、世に一石を投じようとするものです。本日のシンポジウムが、「木材・国産材の利用拡大」ひいては「天然素材である木材から製造される人にやさしいツキ板」の需要拡大に結びつくことを期待しているところでございます。

今、私は、本日の40周年記念式典を契機として、心を新たに業界の力を結集して、厳しい現状を克服し、明日へ向けた業界発展の礎をより強固なものとするスタートの年にしなければならないとの思いを致しているところです。

どうか引き続き、皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

最後になりますが、本日ご参集いただきました皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

平成24年10月24日

全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会

会 長 松 尾 和 俊